

■科目名			
学校教育相談【他学部生向け】 Introduction to School Counseling			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職に関する科目【他学部用】	心理学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2			前
■担当教員			
山下 みどり			
■代表教員名及び連絡先等			
メール midori.yama310@gmail.com			
■オフィスアワー			
非常勤講師のため、メール（midori.yama310@gmail.com）でお問い合わせください。			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
学校教育との関わりの中で、児童生徒を正しく理解し、児童生徒そしてその保護者を支援する具体的な方法としてのカウンセリング技術を学ぶ。主に折衷的カウンセリングの立場から関係性の中での援助アプローチについて学ぶ。			
■授業の到達目標及びテーマ			
1. 基本的なカウンセリング理論に関する基礎知識を身につける。 2. 自分自身の他者との関わりのあるようについて気づく。 3. 他者と「開かれた関係」を今以上に結べる。 4. 「傾聴」ができるようになる。 5. 他者に影響を与える「聴き方」ができるようになる。 6. 幼児や児童生徒をいろいろな観点から理解できるようになる。 7. 学校教育の場で実践できるカウンセリングに関して基礎的な技術を習得する。			
■授業計画			
1. 学校教育と教育相談 2. カウンセリングの基礎理論 3. 育てるカウンセリング 4. 構成的グループエンカウンターによる関わり演習 5. 子どもの発達理解と相談・支援（1） 6. 子どもの発達理解と相談・支援（2） 7. 子どもの発達理解と相談・支援（3） 8. 不登校の理解と対応 9. 発達障害の理解と支援 10. 特別支援教育についての理解 11. いじめの理解と対応 12. 保護者への理解と支援 13. 学級経営にいかす教育相談 14. 校内および関係機関との連携 15. 授業の総括と確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
・日頃から新聞やニュース等を見聞きしておくこと。 ・毎回授業後、ノート整理を行い、不明な専門用語や興味関心のあることなど積極的に調べること。			
■受講要件			
教育心理学を修得していること			
■成績の評価基準			
受講態度・振り返り・小レポート50％、確認試験50％で評価する。			
※出席が11回に満たない場合は、評価の対象としない。			
■教科書・参考書			
教科書は指定しない。			

必要な資料は適宜配付する。

■教師としての資質能力に関するチェック項目

6. 保護者・地域社会との連携力

【B連携協働力、自己改善力の育成】学校と家庭や地域社会との連携・協力の在り方について、基本的な理解を深め、自ら連携・協力しようとする態度を身に付けている

7. コミュニケーション力

【B連携協働力、自己改善力の育成】他者とのかかわりや適切なコミュニケーションの在り方について基本的な理解を深め、自らそれを実践することができる

10. カウンセリングに関する理解

【C学習者理解】カウンセリングや教育相談についての基礎的な知識を身に付けており、それらの知識を学習者理解に活かすことができる

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；

振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング（授業回数）

2～3人でのグループ活動は、ほぼ毎回、4人以上でのグループ討議は、3回程度を予定している。

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

※授業形態（対面・遠隔）については、コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。

※講師の都合等により、授業計画が変更されることがある。